

平成31年度 事業実績報告書

申請者の概要

申 請 者	団体名	熊取町商工会
	代表者職・氏名	会長 辻 正義
	所在地	〒590-0451 大阪府泉南郡熊取町野田2-9-20
	担当者	職・氏名 事務局長 東 英彦
	連絡先	電話番号（直通）： 072-453-8181
		F a x： 072-453-8183
		E - m a i l： kumatori@silver.ocn.ne.jp
①設立年月日 ②職員数 （うち経営指導員数） ③所管地域 ④管内事業所数 ⑤管内小規模事業者数 ⑥会員数（組織率） ※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載のこと		昭和59年7月10日 5名（内経営指導員 5名） 熊取町 1, 239（平成28年度経済センサス活動調査による） 892（平成28年度経済センサス活動調査による） 705(57%)（令和2年3月31日現在）
□主な事業概要（定款記載事項等）		
①商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。 ②商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。 ③商工業に関する調査研究を行うこと。 ④商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。 ⑤展示会、共進会を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。 ⑥商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。 ⑦商工会としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。 ⑧行政庁等諮問に応じて、答申すること。 ⑨社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。 ⑩商工業者の委託を受けて、当該商工業者が行うべき事務（その従業員のための事務を含む。）を処理すること。 ⑪商工業者の福利厚生に資する事業を行うこと。 ⑫行政庁から委託を受けて事業を行うこと。 ⑬外国人研修生の受入れに関する事業を行うこと。 ⑭前各号に掲げるもののほか、本商工会の目的を達成するために必要な事務を行うこと。		

熊取町商工会

(1) 事業の目標

熊取町商工会は小規模事業者が抱える経営課題を把握解決するため指導員が窓口・巡回指導を行い事業所のカルテ、サービス提案や施策のPR、情報の発信を行い様々な面からの確に相談支援を総合的に実行して事業所の安定的持続発展に寄与する。また専門的な課題については各関係支援機関、専門家等と連携を図りその解決に向けたきめ細やかな支援を行い事業者が持つ課題を解決に導く。また地域活性化事業は大阪府の施策を基本として事業所の参加を促し、近隣の商工会、商工会議所等が広域にて連携を図り事業を積極的に展開し、より多くの参加事業者のビジネスチャンス創出や販路拡大に繋げ曳いては活力のある地域商工業の発展に寄与する事が重要な目標である。

(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

経営指導員による相談支援事業は、事業者の抱える経営課題や問題点等を把握するため窓口・巡回時において事業者とより多く接点を持つよう心掛け親切、丁寧に指導に取り組む事が出来ました。そして指導員間ではカルテ等で情報を共有し事業所の課題を把握してニーズに沿った情報の提供や提案等を図り、経営課題の解決に指導員が一丸となり迅速かつ的確な支援を行う事ができた。そして専門的高度な課題の解決は関係機関や専門家との連携を保ちながら諸問題の解決に導く事が出来た。専門相談支援事業は、税務支援を実施し、年末調整・確定申告時期を重点に消費税の軽減税率への対応などより高度で複雑な問題の解決に対応することが出来ました。地域活性化事業については、府・各市町・各商工会と連携して、DMや広報等を通じて事業をPRする事が出来ました。また各事業に沿うように事業所の個別訪問を行い地域活性化事業への参加を促す事ができました。Web活用販路開拓事業では新規顧客獲得の第一歩目であり事業所のPRをより一層効果的に出来るよう経営指導での訪問の際に連携を図り情報発信が出来るよう支援する事が出来た。創業セミナー事業はこれから起業する方が参加して頂き易くするために参加無料で開催させて頂いたき受講生の方を開業まで導く事が出来ました。キャッシュレス化推進セミナーでは政府が推進する施策でもあり経産省のポイント還元窓口と連携を取りながらセミナー開催をする事が出来ました。くまとり産業フェアでは大阪日技能士会連合会と連携を図り魅力あるイベントとする事ができ7000人を超える来場者で賑わいました。フェアへの参加企業には出店する上で最大限のPRが出来る様に参加企業の推進を行う事ができました。企業の方々にも一般の方々にも様々な機会を提供することができ地域活性化への一助として開催することができた。

(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況

相談支援事業の件数はほぼ計画通りの事業所数となりました。相談支援事業は事業所訪問の機会を積極的に増やす事で様々な課題が浮き彫りとなり課題解決に向けて情報提供や提案等を行い事業所のニーズを迅速にかつ的確に把握する事ができ問題への対応策等が速やかに対処でき経営課題の解決に向け効果的な支援ができました。地域活性化事業はWeb活用販路開拓事業は参加事業所が各々販路拡大に向け情報発信を実施。自社の広報活動やサービス向上等への取組みをする事で新規顧客の獲得や売り上げの向上、そして何よりWebという新しい情報の場として事業主の意識にも変化をもたらす事ができました。くまとり産業フェアでは近隣商工会と広域連携を図り近隣商工会の事業所が出店する事での集客力の向上と事業所間の交流が図る事ができました。また府施策連携のものづくり体験イベントの開催などで成功裡に盛大に開催する事ができました。創業セミナーは今年度から大阪産業局から講師を派遣して頂き昨年以上に充実したセミナーとなり年度中に一人の方が開業へと導く事ができました。キャッシュレス化推進セミナーは地域柄まだまだ未知数なところではありますが興味のある事業所の参加も多く今後も引き続き積極的に取り組む事業である事が確認できました。専門相談支援事業は税務相談を実施して年末調整、確定申告相談そして今年度から軽減税率への専門的な対応と税の正しい認識と申告納税へと導く事ができました

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

平成31年度熊取町商工会としても相談支援事業・専門相談支援事業・地域活性化事業等の商工会を活用した企業については効果や実績を残し評価を得ることができ現在も伴走的な支援が続いている中でまだまだ商工会を活用されていない事業所、イベントやセミナーなどに参加できなかった事業所も数多くなお一層の地域の商工業者の方に活用して頂くための情報の提供や提案等を積極的に行い浸透を図る。また後継者問題や創業支援にも積極的に取り組み地域活力の向上を図るり地域経済全体に活力が行き渡る様な事業展開を実施し様々な事業、施策を展開し多くの事業所が活用して頂き活性化へと導けるよう今後の商工会の果たす役割は大きいところである。

(5) 来年度への取り組み

昨年度末より世界を震撼させている新型コロナウイルス問題が中小零細企業にとって大きな問題となって降り注いでくると思われる。そのような状況下で来年度も経営相談支援・専門相談支援、地域活性化事業のより一層の浸透を図り、多くの企業に活用した頂けるよう各種情報の提供や提案、掘起しなどを積極的に行い事業所に寄添いながら企業の抱える経営課題や問題点を把握し事業所に問題提起してより効果的な解決策を講じ事業所と共に取り組み地域の活力を向上させて行く。また熊取町と連携を図り地域ブランドくまとりやもん事業や情報発信事業などを実施し地域の賑わいづくりを推進していきます。昨年に引き続きキャッシュレスセミナーや創業セミナーなどを実施して熊取町の活性化に貢献していくところであります。

熊取町商工会

I 経営相談支援事業

支援のポイント・成果

熊取町商工会では地域商工業者の経営課題を明確にする為に従前から経営指導員間の情報共有を図り窓口相談、巡回相談を積極的な推進に心掛けてきました。その結果事業所が抱える経営問題を把握しその問題解決のに向けた手法を提案する事が出来、一年を通して事業所が抱える諸問題の解決に向けた方策等を適切に支援している所ではあるが地域内の事業所において取り巻く環境は非常に厳しく様々な支援が求められる状況が続いている。また大阪産業局や各種関係機関や専門家等への連携を図りより高度な案件にも対応を行っているところであります。その結果の一つとして29年度から始まった熊取町のマルケイ融資の利子補給制度が徐々に浸透しており29年度からの3年間では97件と過去最高件数となりました。熊取町と商工会が連携を密にする事で地域の発展に貢献する事になる。またワンストップ的な機能を果たすことにより経営の改善等に役立てて頂くこともできた。今後も事業所と商工会が連携を密にして、商工会への信頼性・信用性の強化を図り各種支援やサービス向上に努め、地域商工業の振興、発展に繋げていきたい。

(代表事例) 戦前父親が理髪店を開業、2代目として地域内で昭和45年に独立開業し地元の床屋さんとして親しみ営業を続けてこられました。が昨年の台風の景況や老朽化した店舗を改装し外観を美化する事で新規顧客の獲得や二次災害を防止する為のマルケイ融資の支援を行いました。そして今年度のプレミアム付き商品券販売事業を活用してお客様に更なるサービスを提供を計画実行する事で顧客サービスの向上を図る事が出来ましたが引き続き事業承継等の諸問題もありより一層の経営支援を継続する必要があります。

支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	200	199	99.5%	5
支援機関等へのつなぎ	支援数	6	2	33.3%	3
金融支援(紹介型)	支援数	5	6	120.0%	5
金融支援(経営指導型)	支援数	37	28	75.7%	5
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	1	1	100.0%	5
資金繰り計画作成支援	事業所	5	8	160.0%	5
記帳支援	事業所	64	77	120.3%	5
労務支援	支援数	30	31	103.3%	5
人材育成計画作成支援	事業所	1	0	0.0%	1
マーケティング力向上支援	事業所	1	0	0.0%	1
販路開拓支援	支援数	50	86	172.0%	5
事業計画作成支援	支援数	6	3	50.0%	4
創業支援	事業所	1	1	100.0%	5
事業継続計画(BCP) 作成支援	事業所	1	12	1200.0%	5
コスト削減計画作成支援	事業所	50	35	70.0%	5
財務分析支援	事業所	5	2	40.0%	3
5S支援	事業所	10	0	0.0%	1
IT化支援	事業所	1	2	200.0%	5
債権保全計画作成支援	事業所	1	0	0.0%	1
事業承継支援	事業所	3	3	100.0%	5
災害時対応支援	事業所	0	0		1
結果報告	事業所	200	199	99.5%	5

II 専門相談支援事業

支援のポイント・成果

熊取町商工会では年間を通じて税務相談を随時実施しました。また確定申告期間を通じて相談会を実施して事業者の持つ複雑な問題を図るべく専門家を招いてその対応を的確に解決に導く事が出来ました。また相談の際に専門家の通じて税制に対しての理解を深めて頂くこともでき成果を上げることができました。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
税務相談支援	継続		20	20	100.0%	5

熊取町商工会

事業名		Web活用販路開拓事業							
想定する実施期間		28 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	情報化社会においてスマホの普及に伴い、これまで以上にWebが身近なものとなってきている今、ネットにおける情報収集源が、固定されたパソコンからモバイル(スマートフォンやタブレット)へと変化し始めている。優れた製品や技術・商品を製造、または、サービスを提供している事業者にとっては、販路開拓にWebの活用は欠かせない時代となっている。そこで昨年度までのクーポン券付き商業マップ事業をベースにアナログからデジタル化へと移行して販路拡大を図る。今までもこれからも新規顧客の獲得、既存のお客の定着が不可欠であり、Webを活用して効果的な成長を目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	すべての業種においてWebを活用してみたい事業所、活用して新規顧客の獲得を検討している、または、既に取り組んでいるが効果が得られていない等の課題を抱えている事業所。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	名称『熊取うまいガイド』 参加企業へ個別アカウントを発行してクーポンの発行やブログ機能を活用し、キャンペーン告知や新商品PR等の情報を、ご自身で更新していただく。また、Instagram等のSNSも活用し、連携することで幅広いターゲットへPRする。募集につきましては、業種問わず掲載していただけるよう、DMや巡回時に提案を行う。また、Webにアプリゲームを構築し、ゲーム内の得点により掲載店で使える商品券を発行し、アクセス数増加を図る。 募集：令和1年7月5日 会議：令和1年10月30日 商品券発行：令和1年7月12日 <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
	①府施策連携								
	②広域連携								
③市町村連携	新たに構築したアプリゲームをPRするためのカードを作成し、町広報掲載や町内各施設へ配架することで、町民へ広くPRできた。								
④相談相乗	各事業所のイベント発信や身近な話題提供など、様々な情報発信のWebサイトとして利用して頂く事ができた。また、パソコンやスマホの利用に関して苦手な事業所の情報発信に関して、職員の個別対応により情報発信力が向上し、更なる販路開拓に繋がった。								
事業の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	100社	支援企業数(実績)	99社	支援実績率	99.0%	満足度	83
事業の実績/目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	多くの事業所から、掲載することによりPRに繋がったとお声をいただいた。中には、問い合わせの増加や新規顧客を獲得できたお声もいただいた。SNS等の販売促進ツールを複数持つ事業所には、『熊取うまいガイド』とリンクしていただくことで相互PRを行い、検索エンジンの上位に表示されるように努めている。昨年度に引き続き、Webを活用する機会がない事業所や、インターネットで情報を発信することに抵抗のある事業所へは使用方法等の個別レクチャーを行うことにより、Webを活用したPRに取り組んでいきたいとご理解いただいた。また、Web内に新たにアプリゲームを構築したことでアクセス数の増加に繋がりが、ゲームの高得点者へ掲載店で使用できる商品券を賞品として発行することで掲載店の消費喚起を図れた。							
		指標	事業所の特色のアピール・認知度の向上が図れた事業所数						
		数値目標	80%	実績数値	95%	目標達成度	118.8%		
事業の実績/目標達成度	成果の代表事例	複数のSNS等のPRツールを持つ事業所では、季節商品等のPRに注力し、更新したブログを相互PRにより周知することで売上の増加に繋がりが、過去最高の売上を記録された。							
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	廃業等により掲載店数が減少しているため、掲載店数を純増できるよう積極的な提案や丁寧なフォローに取り組む。更新数の増加を図るため、昨年度に引き続き、定期的な個別レクチャーを行い、その際に基本的な使用方法はもちろんのこと、応用的な使用方法やWeb上における情報発信のリスク等についても周知説明していく。Web内アプリゲームの充実を図り、引き続き商品券等のイベントと併せてPRすることで、アクセス数の増加を目指すと同時に、地域住民への定着を図る。							

熊取町商工会

事業名		創業セミナー																						
想定する実施期間		30 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること																						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	開業率が廃業率を下回っている現状が続いており、企業数は減少し続けている。地域を担う新たな起業家の出現が地域活性化に繋がると考える。創業にあたり、必要な手続きに関する基礎的な知識が不足している方も見受けられる。については、スムーズな創業を可能にするため、必要とされる手続きや知識・企業に向けた心構えを身につけていただき具体的なビジネスプランの作成を支援し、事業化を実現させることで、管内の産業活性化を図る。また創業後5年程度の方や不安のある方にも参加頂き、自社の経営を見直す機会としてもらう。																						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	熊取町内外で創業を希望される方・創業後5年以内の方																						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>★創業セミナー</p> <p>【時期】9月～10月 テーマ毎に分けて4回実施</p> <p>第1回 9月21日 テーマ：経営 講師：大阪府よろず支援拠点 中小企業診断士 嶋えりか氏</p> <p>第2回 9月28日 テーマ：販路開拓 講師：大阪府よろず支援拠点 中小企業診断士 谷村真理氏</p> <p>第3回 10月5日 テーマ：財務 講師：大阪府よろず支援拠点 中小企業診断士 永井俊二氏</p> <p>第4回 10月19日 テーマ：人材育成 講師：大阪府よろず支援拠点 中小企業診断士 中辻一浩氏</p> <p>【場所】熊取町商工会館 2階</p> <p>【参加費】無料</p> <p>※創業の心得・開業に伴う手続き・税務関係・公的融資制度の紹介・創業計画書作成のポ
<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td>広報誌や掲示板を利用した広報の協力</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td>セミナー受講者に対して、創業支援や販路開拓支援などを実施。また、カルテ化までには至っていないが個々の状況にあった指導も行った。</td> </tr> </table>								①府施策連携		②広域連携		③市町村連携	広報誌や掲示板を利用した広報の協力	④相談相乗	セミナー受講者に対して、創業支援や販路開拓支援などを実施。また、カルテ化までには至っていないが個々の状況にあった指導も行った。							
	①府施策連携																							
	②広域連携																							
③市町村連携	広報誌や掲示板を利用した広報の協力																							
④相談相乗	セミナー受講者に対して、創業支援や販路開拓支援などを実施。また、カルテ化までには至っていないが個々の状況にあった指導も行った。																							
計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	8	支援企業数(実績)	14	支援実績率	175.0%	満足度	98																
目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>予定していた支援企業数を上回る14名の方に参加していただき目標は達成したと考える。満足度についてもアンケートにもあるように創業に向けた取組について理解をいただけました。創業するにあたり、個別で熊取町で実施している創業支援補助金の説明や特定創業の融資枠拡充の相談も実施致しました。</p> <p>また、セミナー参加者の中には特定創業支援の認定を受け、法人設立時の登記に係る登録免許税の減免や(株)日本政策金融公庫にて開業資金を受けられた方もいる。</p> <p>(外国人労働者派遣事業・通信電気設備保安管理事業・飲食店)</p> <table border="1"> <tr> <td>指標</td> <td colspan="7">創業に向けた知識の理解度</td> </tr> <tr> <td>数値目標</td> <td>70</td> <td>実績数値</td> <td>99</td> <td>目標達成度</td> <td colspan="3">141.4%</td> </tr> </table>								指標	創業に向けた知識の理解度							数値目標	70	実績数値	99	目標達成度	141.4%		
指標	創業に向けた知識の理解度																							
数値目標	70	実績数値	99	目標達成度	141.4%																			
成果の代表事例	<p>人材紹介会社や電気設備での勤務経験を元に独立を考えて創業セミナーを受講した方が、特定創業支援の認定を受け、法人登録免許税の減免や開業資金の借入にて起業された。</p> <p>※電気設備での独立開業に向けた開業資金借入(金融支援)については、事業計画の内容は良く、借入出来ましたが奥様の支援が得れなくて断念される。</p>																							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度																			

実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	アンケート内容から創業セミナーを開催することにより、以前から独立開業を考えていた方や起業して間の無い事業者に対して知識を得ていただけたと感じております。また、テーマ別を実施することにより理解を深めていただけたと実感する。今回は、前年と違い、講師を大阪府よろず支援拠点コーディネーターの中小企業診断士の資格を有した方々にお願いした結果、受講者の反応も良く、創業への理解度も良かった。来年度も一人でも多くの方が創業出来るよう商工会がパイプ役になり個々にあった支援を実施出来るようにしていきたい。
------	--	---

熊取町商工会

事業名		キャッシュレス化 推進セミナー														
想定する実施期間		31 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること														
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	現金の決済をカードや電子マネーなど電子決済に変えていくキャッシュレス化に関心が集まり、政府も推進の旗を振っている。政府がキャッシュレス化を推進する一つの理由は、インバウンド消費の促進である。ところが町内の小さな飲食店や小売店では、クレジットカードが使えないところが多く、潜在的な外国人の消費需要を取りこぼしているという問題がある。このような事からセミナーを通じてキャッシュレス化の認識を高めてもらう。														
	支援する対象 (業種・事業所数等)	町内外の小売店及び飲食店等														
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>★「キャッシュレス・消費者還元事業」入門&体験セミナー</p> <p>【時 期】令和元年8月21日 14:00～16:00 【場 所】熊取町商工会館3階研修室 【参加費】無料 【講 師】ポイント還元事務局（一般社団法人キャッシュレス推進協議会担当者） キャッシュレス決済事業者5社 （オリガミペイ・JMS・楽天ペイ・Airペイ・メルペイ）</p> <p>※キャッシュレスを導入する事での事業所・お客様のメリット、サービス内容、登録までの流れ。 決済事業者からは自社のキャッシュレスの特徴などの説明</p> <p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td>府連携をする事でセミナーの的確な開催方法、参加事業所に即応できる仕法などを指導して頂き参加者にとって満足のいくセミナー開催となった。</td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td>熊取町と連携をする事で事業の開催を町広報に掲載し幅広くPRが出来た。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td></td> </tr> </table>							①府施策連携	府連携をする事でセミナーの的確な開催方法、参加事業所に即応できる仕法などを指導して頂き参加者にとって満足のいくセミナー開催となった。	②広域連携		③市町村連携	熊取町と連携をする事で事業の開催を町広報に掲載し幅広くPRが出来た。	④相談相乗	
	①府施策連携	府連携をする事でセミナーの的確な開催方法、参加事業所に即応できる仕法などを指導して頂き参加者にとって満足のいくセミナー開催となった。														
	②広域連携															
	③市町村連携	熊取町と連携をする事で事業の開催を町広報に掲載し幅広くPRが出来た。														
④相談相乗																
計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	12	支援企業数(実績)	13	支援実績率	108.3%	満足度	80								
事業の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回の参加企業はほぼ小売業・サービス業の方にてであり今回のセミナーでのキャッシュレスの理解度と導入の意欲が高まりその後その場で決済事業者への直接のアプローチが出来た事で各事業所にあったキャッシュレスの導入を積極的に推進する事が出来た。														
	指標	キャッシュレス化についての理解度														
	数値目標	70	実績数値	88	目標達成度	125.7%										
成果の代表事例	H衣料品店は既にキャッシュレス決済事業者と契約を完了していたが今回のセミナーで新たな決済事業者と契約できたこととお客様への色々な還元決済方法を選択して頂ける事ができより一層お客様への幅広い対応ができ購買力の上昇とお客様満足度を上げる事が出来たと言う声を頂きました。															
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度											

実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	国が2025年までにキャッシュレス比率を40%と目標を掲げた事で小規模事業者にとって今後事業を継続していく上では必要不可欠なものとなることが予想される。そのような状況下で2020年5月頃にJPQRが稼働開始(予定)されており地域のキャッシュレス化を進める為にはJPQRを含めたキャッシュレスの基本についての解説、サービスの紹介等セミナー等をいち早く実施していきたい。
------	--	---

熊取町商工会

事業名

くまとり産業フェア事業

想定する実施期間

25 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること

事業の目的

(現状や課題をどのような状態にしたいか)

厳しい環境下にある町内商工業を支援し、そして活性化を図るには、企業等による販売促進活動の支援、新たなビジネスチャンスの創出が必要である。本産業フェアを行うことにより、自社単独ではできない環境下での潜在的な顧客の開拓、地元商工業の優れた製品・商品等を消費者へ力強いアピールすべく、展示・即売・商談・販路開拓等の事業機会を提供し、事業所と消費者との交流を深め消費者ニーズの把握や企業間の情報交換・交流等を行う事で自社の強みや弱みに気づく機会となる。また、本産業フェアを実施に当たり熊取町と連携をとり町農業祭を共同開催する。共同開催することにより農業及び商工業の異業種間交流を深めることにより事業所の意識の高揚をはかり、新たな産業交流が生まれ連携による新規事業の創出を見出すことができる。地元産業の認知度向上、販路拡大等の機会を提供し地域産業の振興、活性化を促すことを目的とする。

支援する対象

(業種・事業所数等)

泉南市・阪南市・岬町・忠岡町・熊取町商工会内の事業所

実施時期・具体的な内容及び事業手法

くまとり産業フェアと熊取ふれあい農業祭との合同開催
 会議 7/17・9/25・11/19・3/25 (書面議決)
 広報 新聞折込15,400部・関係各所へ配布・町広報誌掲載・ホームページへ掲載
 開催日 令和1年12月1日(日)
 開催場所 熊取町立中央小学校グラウンド
 来場者数 約7,000人
 出店事業所数 43店舗

<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>

- ①府施策連携 大阪府人材育成課、大阪府技能士会連合会と連携を図り、各技能士会によるものづくり教室を開催。技能体験により、ものづくりに興味を持って頂くよう促進。
- ②広域連携 泉南・阪南・岬・忠岡・熊取が連携し、出展者や来場者に対し広域でPRを実施。
- ③市町村連携 農業祭との共同開催により、事業の開催を町広報に掲載し幅広くPRを実施。町と連携する事で職員の動員などの協力も得る事が出来た。
- ④相談相乗

計画に対する実績(数値)

支援企業数(計画)	40 社	支援企業数(実績)	43 社	支援実績率	107.5%	満足度	85
-----------	------	-----------	------	-------	--------	-----	----

目標の達成度

(支援企業をどう変化させることができたか)

令和1年12月1日開催の第8回熊取ふれあい農業祭と熊取町立中央小学校で今年も同時開催。来場者も延べ7,000人(熊取町のデータより)町内屈指の大型イベント恒例行事として地域住民には定着。参加企業は43社(熊取29社、忠岡3社、泉南5社、阪南3社、岬3社)となり地域内の特産品・展示即売など、出店にもディスプレイ等創意工夫がみられ、多くの方にアピールすることができた。また、大阪府人材育成課、大阪府技能士会連合会と連携を計る事ができ、より一層の盛り上がりを見せ、参加事業所にも好評であった。

指標	自店・商品等のアピール・認知度の向上が図れた事業所数		
数値目標	28 社	実績数値	33 社
目標達成度	117.9%		

成果の代表事例

例年に比べ新規出展された方が多く、珈琲の移動販売をされている事業所では、複数の販売場所においてリピーターの来店に繋がった。また、薬局をされている事業所では、新たなプライベートブランド商品の販売促進に繋がり、薬局自体を含めた認知度向上に繋がった。

その他目標値の実績

目標値(計画)	4,000 人	目標値(実績)	5,052 人	目標達成度	126.3%
---------	---------	---------	---------	-------	--------

天候に恵まれ、終始賑わいが絶えることなく盛況であった。昨年の実績と比較し、来場者が減少している事業所について、増加している事業所を参考に分析を行い、集客力向上に繋がる取組を検討する。

課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)

例年の課題である出展者が出展者用駐車場に車を駐車せず、来場者用駐車場に駐車する車が多く、来場者用駐車場が混雑する現状に対し、次年度は、近隣施設の駐車スペースを解放できないか調整することを含め、商工会職員による駐車場周辺の定時巡回ができないかも併せて検討する。

事業の概要

事業の実績/目標達成度

実施結果